

読売新聞 きょう（9月27日）のイチ押し

1面 巨匠の偽版画 逮捕へ（本紙の特ダネです）

日本画の巨匠・平山郁夫や東山魁夷（かいいい）らの版画の偽作が大量に流通した事件で、警視庁が大阪府池田市の画商（53）と奈良県大和郡山市の版画工房経営者（67）について、著作権法違反容疑で逮捕状をとりました。近く2人を逮捕します。

- ★ 画商は知人の工房経営者に依頼して、「リトグラフ」や「シルクスクリーン」と呼ばれる技法の版画を複製させ、偽作を真作と偽って10年ほど前から販売していました。
- ★ 業界団体の「日本現代版画商協同組合」などの調べで昨年、偽作の流通が判明していました。画商は調査に10作品の偽作を認めています。10点以外にも多数の偽作があるとみられていて、販売した百貨店などが作品の回収を進めています。

1面 緊急事態30日解除

新型コロナウイルス対策として東京や大阪など19都道府県に発令中の緊急事態宣言について、政府は今年30日の期限で解除する方針を固めました。27日に関係閣僚会議を開いて協議し、28日に正式決定する方向です。

- ★ 田村厚生労働相は26日のNHK番組で、「新規感染者の減少傾向は止まっていない。この状況で行けば、9月末での宣言の解除は実現できる」と明言しました。
- ★ 政府は宣言解除後、日常生活に関わる行動制限を段階的に緩和します。

他紙と比べて

「わいず倶楽部」のページでは紙面講座「脳を鍛える歩き方」の最終回が載っています。昨年5月から関西福祉科学大の重森健太教授（脳トレーニング科学）が15回にわたって寄稿されていました。最終回はこれまでのポイントを整理しています。過去の掲載記事はWEBページ (<https://ysclub.jp/>) で読むことができます。